

菅沢ダムだより



印賀川支流荒田川で水生生物調査をしました

平成25年8月6日に菅沢ダムの水源、印賀川支流荒田川(日野郡日南町大宮地先)で日南町大宮自治会の皆様、大宮地区の児童、保護者の方々と一緒に水質調査を実施しました。暑い中ではありましたが、荒田川の水はヒヤリとし、児童の皆さんは泳いでいる魚にくぎ付けになる場面もありました。水質調査の結果、透明度は1mあり、とても澄んだ川であることが分かりました。水生生物調査は、ヒラタカゲロウ類やミスカマキリ、タニシ類を見つけることが出来ました。この度はミスカマキリ、タニシ類が比較的多く見つかリ、「汚れている水」に分類されました。が、荒田川は、砂が多い川のように、そのような川の生息に適しているのがミスカマキリやタニシ類だった。のではないかと思います。

水生生物調査は、昭和59年から始まり、日野川、法勝寺川沿川の小・中学生、一般の方々にご協力をいただきカゲロウ類、カワゲラ類等の水生生物の分布状況を調べることにより川の汚れ具合を評価します。また、参加した方々の身近な河川の水質状況、河川愛護の重要性を認識していただくことも目的としています。

